

平成19年度神奈川県大気汚染物質排出量調査実施結果

(平成18年度実績)

1 調査目的

神奈川県及び政令6市が共同で、工場・事業場の大気汚染物質排出量及び燃原料使用量等の実態を把握し、大気保全行政の基礎資料とする。

2 調査対象期間及び調査方法

(1) 調査対象期間：平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(2) 調査方法

- ア アンケート方式（「大気汚染物質排出量調査票」を送付、川崎市を除く）
- イ 独自調査（川崎市）

3 調査対象

ア アンケート方式分

大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設（電気事業法第2条第1項第14号に規定する電気工作物及びガス事業法第2条第13項に規定するガス工作物であるばい煙発生施設を含む。）を設置している県内の工場・事業場

調査対象工場・事業場数	2,901件	対象施設数	8,404件
調査票回収工場・事業場数	2,251件	調査票回収施設数	7,329件
工場・事業場数回収率	77.6%	施設数回収率	87.2%

イ 川崎市独自調査分

調査対象工場・事業場数 498件、 対象施設数 1,723件

4 調査内容

各ばい煙発生施設の大気汚染物質排出量（硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、塩化水素）、燃原料使用量、稼働状況及びばい煙濃度測定結果（硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、塩化水素）

5 調査結果（川崎市分含む）

(1) 大気汚染物質排出量

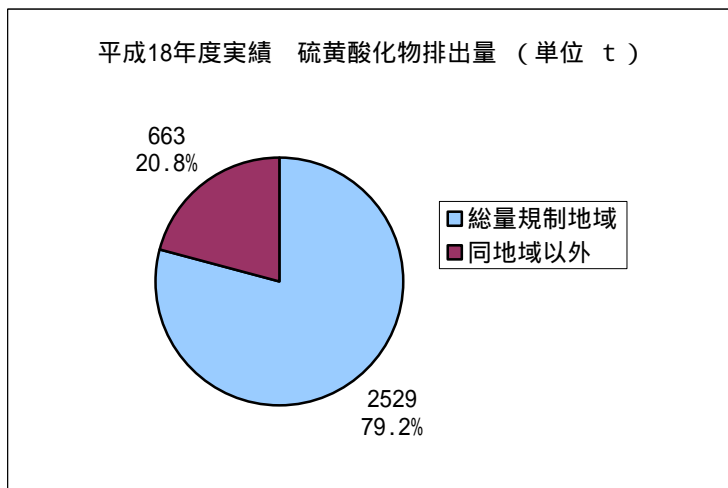
ア 硫黄酸化物排出量

硫黄酸化物排出量は3,192 tであり、前年度より1,020 tの減少となっている。

【硫黄酸化物排出量の過去5年間の経年変化】 (単位 t)

平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度実績
5,574 (100)	7,257 (130)	5,018 (90)	4,212 (76)	3,192 (57)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の硫黄酸化物排出量比較】



総量規制基準が適用される地域：神奈川県内では、横浜市、川崎市、横須賀市が指定されている（以下、同じ）

イ 窒素酸化物排出量

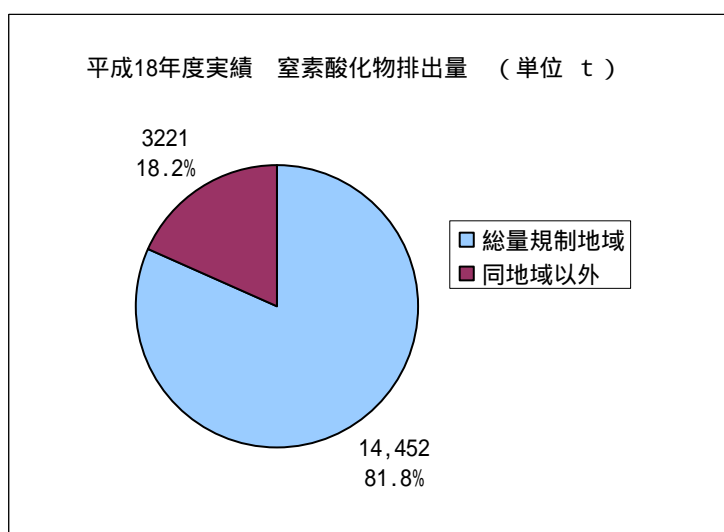
窒素酸化物排出量は17,674 tであり、平成17年度実績と比べると964 tの減少となっている。

オキシダントに係る主要ばい煙排出者（平成18年度は112）の窒素酸化物排出量は、15,433 tであり、平成17年度実績と比べると1,166 tの減少となっている。

【窒素酸化物排出量の過去5年間の経年変化】 (単位 t)

平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度実績
21,923 (100)	23,541 (107)	20,665 (94)	18,637 (85)	17,674 (81)

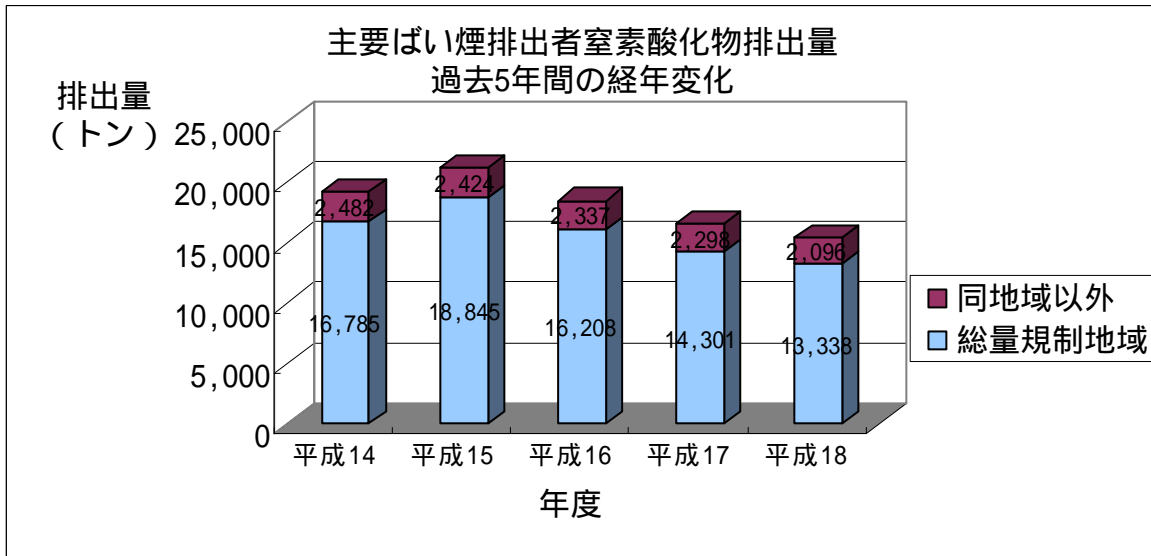
【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の窒素酸化物排出量比較】



【オキシダントに係る主要ばい煙排出者窒素酸化物排出量の過去5年間の経年変化】

(単位 t)

地 域	平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
総量規制地域	16,785	18,845	16,208	14,301	13,338
同地域以外	2,482	2,424	2,337	2,298	2,096
合 計 (指 数)	19,267 (100)	21,269 (110)	18,545 (96)	16,599 (86)	15,433 (80)



ウ ばいじん排出量

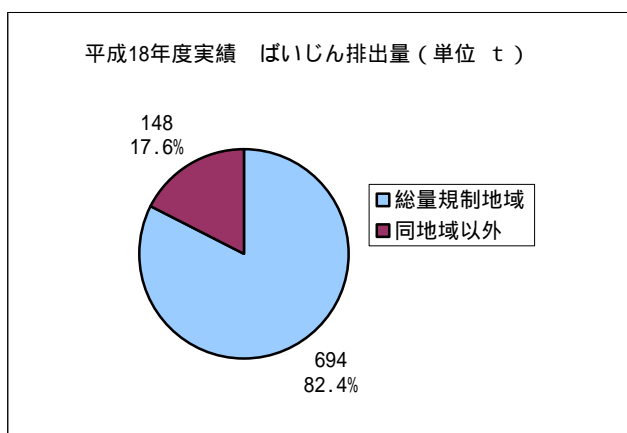
ばいじん排出量は842 tであり、平成17年度実績と比べると115 tの減少となっている。

【ばいじん排出量の過去5年間の経年変化】

(単位 t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
1,175 (100)	1,156 (98)	1,151 (98)	958 (82)	842 (72)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域のばいじん排出量比較】



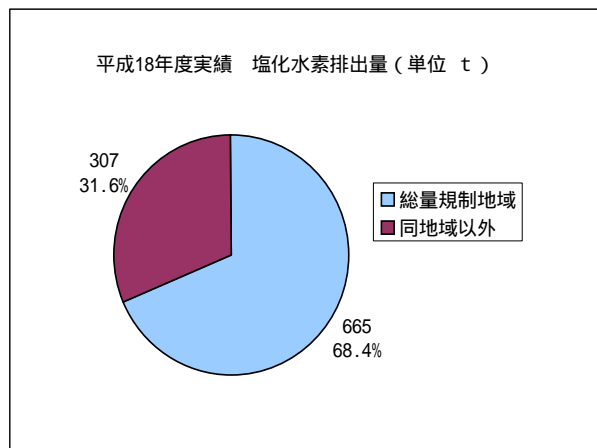
エ 塩化水素排出量

塩化水素排出量は972 tで、平成17年度実績と比べると93 tの減少となっている。

【塩化水素排出量の過去5年間の経年変化】 (単位 t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
2,265 (100)	1,907 (84)	1,568 (69)	1,065 (47)	972 (43)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の塩化水素排出量比較】



(2) 燃原料使用量

ア 重油換算燃料使用量

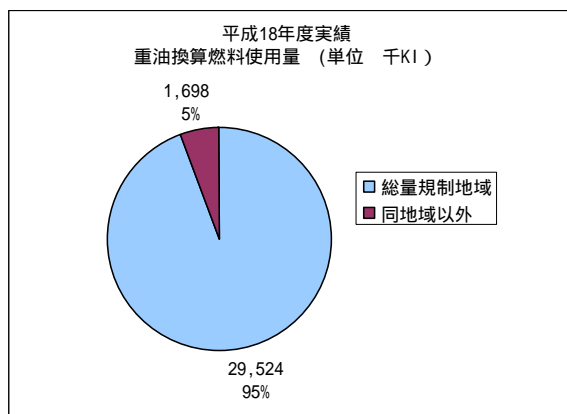
重油換算燃料使用量は31,223,296 kLである。平成17年度実績と比べると1,654,752 kLの減少となっている。

【重油換算燃料使用量の過去5年間の経年変化】 (単位 t)

平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度実績
	32,250 (100)	30,338 (94)	32,878 (102)	31,223 (97)

平成16年度にシステム改修を行い平成15年度実績から算出可能となった。

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の重油換算燃原料使用量比較】



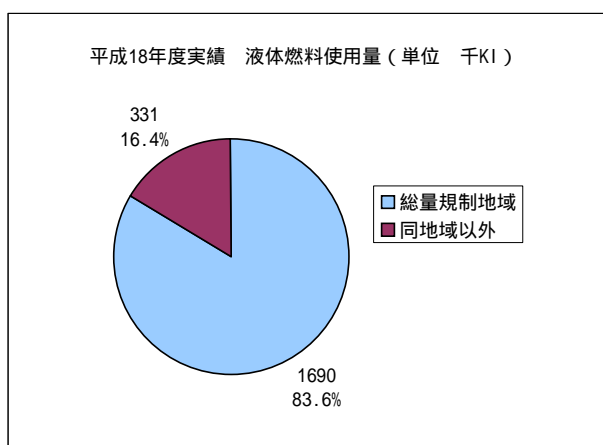
イ 液体燃料使用量

液体燃料使用量は2,021,163klであり、平成17年度実績と比べると1,545,373klの減少となっている。

【液体燃料使用量の過去5年間の経年変化】 (単位 10³kl)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
2,874 (100)	3,946 (137)	3,676 (128)	3,565 (124)	2,021 (70)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の液体燃料使用量比較】



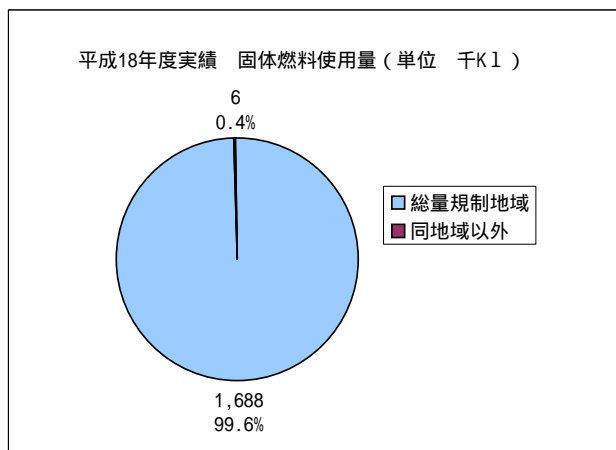
ウ 固体燃料使用量

固体燃料使用量は1,693,744tであり、平成17年度実績と比べると549,965tの減少となっている。

【固体燃料使用量の過去5年間の経年変化】 (単位 千t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
1,725 (100)	2,034 (118)	2,013 (117)	2,244 (130)	1,694 (98)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の固体燃料使用量比較】



エ 気体燃料使用量

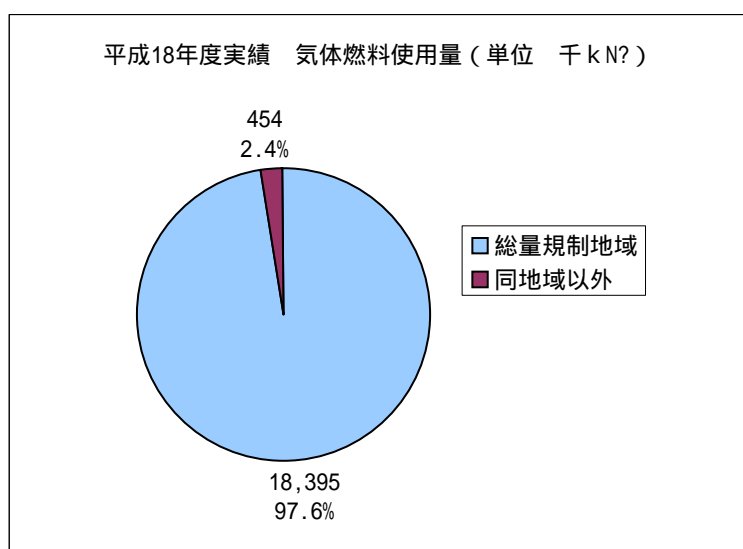
(ア) 気体燃料使用量（LNG、LPGを除く）

気体燃料使用量は18,848,738 kNm^3 であり、平成17年度実績と比べると1,460,260 kNm^3 の増加となっている。

【気体燃料使用量の過去5年間の経年変化】 (単位 10^3kNm^3)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
15,954 (100)	18,086 (113)	16,825 (105)	17,388 (109)	18,849 (118)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の
気体燃料使用量（LNG、LPGを除く）使用量比較】



(イ) LNG, LPG使用量

LNG使用量は5,476,994 tであり、平成17年度実績と比べると407,199 tの増加となっている。

LPG使用量は 54,920 tであり、平成17年度実績と比べると 4,586 tの減少となっている。

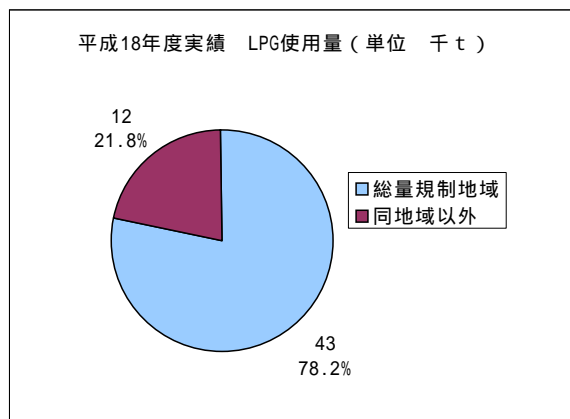
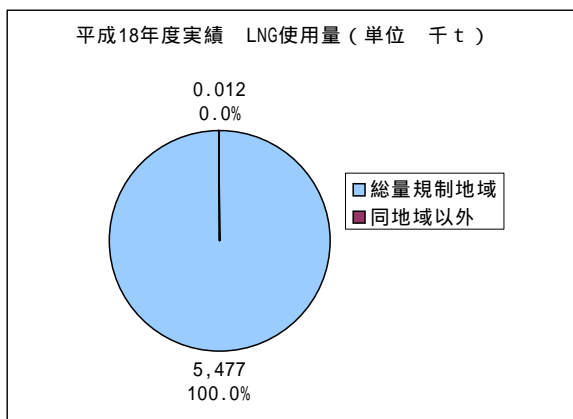
【LNG使用量の過去5年間の経年変化】 (単位 千 t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
5,959 (100)	6,158 (103)	5,351 (90)	5,070 (85)	5,477 (92)

【LPG使用量の過去5年間の経年変化】 (単位 千 t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
47 (100)	60 (128)	62 (132)	60 (128)	55 (117)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域のLNG、LPG使用量比較】



オ 原料使用量

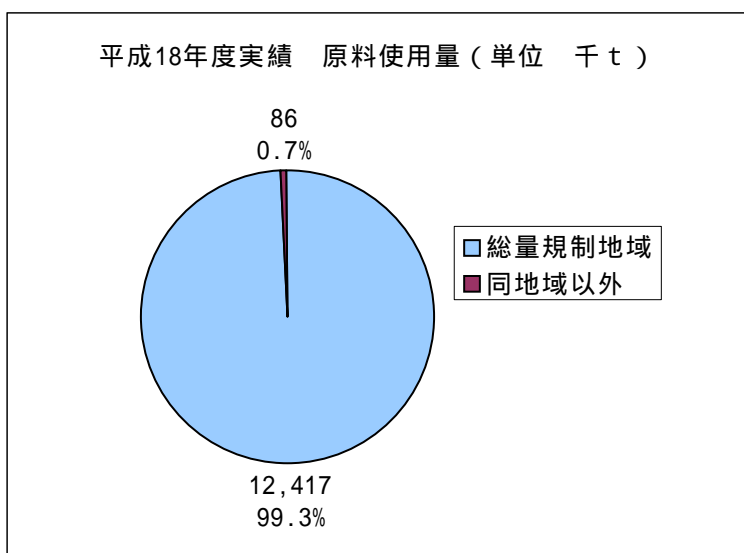
原料使用量は12,502,703 tであり、平成17年度実績と比べると228,148 tの増加となっている。

【原料使用量の過去5年間の経年変化】

(単位 千t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
5,470 (100)	5,532 (101)	9,913 (181)	12,275 (224)	12,503 (229)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の原料使用量比較】



カ 廃棄物使用量

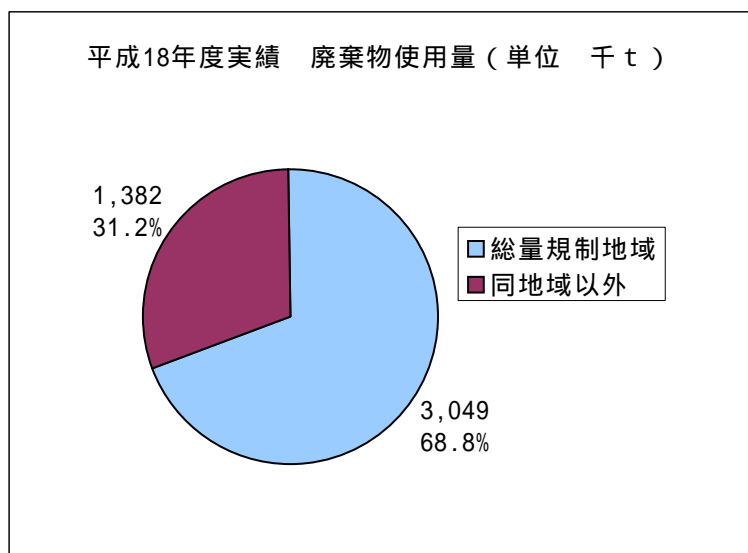
廃棄物使用量は4,431,380 tであり、平成17年度実績と比べると60,079 tの減少となっている。

【廃棄物使用量の過去5年間の経年変化】

(単位 千t)

平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績
4,992 (100)	5,078 (102)	4,702 (94)	4,491 (90)	4,431 (89)

【総量規制基準が適用される地域とそれ以外の地域の廃棄物使用量比較】



注 数値は四捨五入のため、合計と各項目を合算したものが一致していないことがある。

問い合わせ先

環境農政部大気水質課

【住所】〒231-8588 (住所は要りません)

【電話】045-210-4111

【ファクシミリ】045-210-8846

【ホームページ】<http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/0503/index.html>

【Eメール】上記リンク先よりフォームメール(お問い合わせ欄)を利用してください